

熊本地震からの復興 新阿蘇大橋が3月7日開通へ その2

先週の学校だよりで開通式にあわせて、橋の欄干の親柱につける「橋名板」の作者として選ばれた代表生徒の話題を紹介しました。いよいよ明後日の日曜日に開通式があります。3月2日に復興事務所より来校され、感謝状と橋名板のレプリカ贈呈がありました。右の写真は授与式が終わり、実物の橋名板を持って写真撮影をしている様子です。

この4枚は持ってみると分かるのですが、大変重く丁寧に作成されたものです。この後、現地で取り付けられて、3月7日の開通式で一般の方々に披露されます。

みなさんが習字の時間に書いた作品の代表を金属で型取り作成されたものがこの橋とともに、これから何十年も地域の方々や全国から南阿蘇を訪れる方々を迎えます。

みなさんの取組が南阿蘇村をはじめとして、この橋を利用していくことのできる地域の復興、観光、産業を後押ししていくことであり、誇らしく思います。そのため「南阿蘇中学校のみなさんへ」というレプリカを国土交通省からいただきました。



(学校に贈呈されたレプリカ)



届け、日めくりカレンダー

今年度は新型コロナウイルス対策のため、地域の方との交流ができませんでした。何とかコロナ禍でも交流ができないかと生徒会の執行部が中心となり、意見を出し合い考えました。その結果、今年は、例年、ワークキャンプや職場体験でお世話になっている福祉施設等に日めくりカレンダーを作成し送ることにしました。3月2日(水)のロングブリッジタイムで各クラス一人ひとりがメッセージを書きました。内容は「コロナ禍でも落ち込まずに、元気が出るようなメッセージ」です。集まった作品を代表がカレンダーにして後日届けます。喜んでもらえると良いなと思っています。みなさんありがとうございました。

